

行ってみた!  
近所で突撃取材!  
やってみた!



パッケージのピンク色が目を引く紅茶。ロブチューは税入り115gの缶入りで税込2400円。紙箱入り、個包装もあり

### 全国にファンを持つ紅茶専門店 「ロブチューティーガーデン」

イチ押しの紅茶が店名にもなっている紅茶専門店が、玉川学園前駅北口から徒歩5分ほどの場所にある『ロブチューティーガーデン』。ロブチューとは、インドのダージリン地方にある茶園の名前です。ロブチュー種を収穫するお茶園は、他のお茶園に比べて小さいため、ロブチュー種はとても希少とされますが、この店で販売するロブチュー紅茶はすべてこのお茶園からの仕入れ。店内ではダージリンやアッサム、アールグレイなど約20種類の紅

茶を買うことができますが、ロブチューは他の紅茶と比べても、味と香りがひと味違います。私も試しに飲んでみましたが、お湯を入れた瞬間からよい香りが店内じゅうを包み込みました。渋みも少ないので、ストレートでもとても飲みやすいです。この(幻)のダージリンティーを求め、全国のお客さんからの注文が入るそうです。

現在の経営者、上村雅美さんと中村千佳子さんは横浜市出身で小学校からの幼なじみ。元々玉川学園でこのお店を経営していた夫婦が新しく八ヶ岳でお店を開くことになり、17年ほど前に玉川学園のお店を引き継ぐ形でオープンしたそうです。

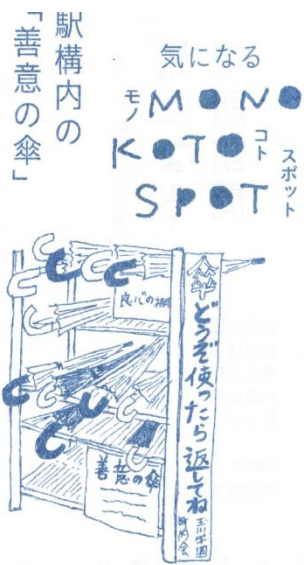
ふたりが大切にしているのは、紅茶をもっと身近に感じてほしいということ。犬の散歩の途中で訪れる人がいたり、店内のソファでお菓子と一緒に紅茶を楽しむ人がいたり、このお店は地域の憩いの場にもなっています。「紅茶屋さんには敷居が高いと思われがちですが、そんなことはありません。気軽に立ち寄りください」とおっしゃっていました。



場所は玉川学園北口商店街の踏切そば、町田メアリー歯科の前。紅茶のパッケージと同じくピンクの幌の看板が目印

DATA  
町田市玉川学園1-22-20  
☎042-725-6998  
営/10:00~19:00 休/日曜

ふたりとも、とても親しみやすい方なので、また買いに行つてみたいと思いました。ちなみに、お店に並んでいるお菓子は町田市の作業所で作っているクッキーのほか、パウンドケーキ、チョコなど、シーズンごとに変わります。木曜日までに予約をすれば、翌日金曜日に2人の友人の店である「横濱パン玄人BAKERY OKADA」のパンを購入することも可。予約購入のパンはプレーンor玄米食パンを選ぶことができます(いずれも1斤税込380円。予約時に希望を言えば、6枚切り、8枚切りなど好みにカットすることもできるそう)。紅茶の宅配サービスもしているので、ぜひ利用ください。(山)



### 「善意の傘」

玉川学園前駅の利用者なら、多くの人が自由に使える「善意の傘」を見たことがあるでしょう。管理・運営しているのは玉川学園町内会。北口と南口に約30〜40本が置かれていて、町内会の当番の方が週に一度点検をしています。町内会環境部長の三宅俊剛さんによると、始まりはある地域住民の呼びかけ。今から約35年前、当時の駅周辺は道路が完全に舗装されておらず、当初は傘と長靴と一緒に置かれていたそうです。使われた傘は後日ほぼ戻り「ありがとう」「苦勞さま」と利用者から声をかけられることもよくあるそうです。最近、大きな駅では有料で傘をレンタルできるサービスも始まりました。しかし、無料で使える「善意の傘」は、大勢の善意で成り立っており、地域の力が試されています。急な雨のときには「善意」に触れてみてはいかがでしょう。(亀)



### 玉大生によるつばめエッセイ

教師を目指して玉川大学に入学し、このまちで始めた塾講師のアルバイトも3年目になります。小学生だった生徒が中学生になったりして、時間の流れを感じます。生徒とは他愛のない会話をよくしました。「部活動の代表に選ばれた」とか「いい記録が出た」といった話を聞くと自分のことのように嬉しく思い、生徒ががんばっている姿を見て自分に気合を入れたこともありました。自分の小学生時代と比較して、学校で流行っている遊びの話で盛り上がったことも。自分が落ち込んだり、悩みを抱えていたりしたときには、生徒から元氣や勇氣をもらいました。この春、大学を卒業するタイミングで塾講師のアルバイトをやめます。教職には就かないことになったけれど、今まで生徒からもらったものを、今度は自分が他の人に与えられるように、生きていきたいと思えます。(尾)

### 玉川学園、ぼくの好きな場所



### 7丁目公園の回転遊具

7丁目児童公園にコーヒーカープのような回転遊具があつて、何度か遊んだことがあります。すごい勢いで回転させることができるので、他の遊具よりスリルを感じることが出来ます。ただ、速く回しすぎて、友達が遊具から落ち、ケガをしたことがありました。町田市の公園緑地課に聞いてみると遊具は年に1回以上点検しているそうです。ふざけて回しすぎると危険な遊具だと思ふので、大人と一緒にいるなど、安全面にはくれぐれも気をつけてほしいです。(田)

### ◎編集後記

- 玉川学園は人と人のつながりが深いことを知りました。つばめ通信の記事がさらに地域の方々を結ぶものになってくれることを願っています。(与風翔)
- 社会福祉協議会やあんしん相談室、町田市役所の方からお話を伺いました。一つの物事にたくさんの人が関わっていることを実感しました。(岡本拓実)
- 4年間通っていたのに、玉川学園の地域のことを全く知らなかったことに気付きました。自ら知ろうという姿勢が大切だと感じました。(西川和実)
- ずっと行きたいと思っていた「ゼルビア×キッチン」に行けてよかったです。地域のことも考える良い機会になりました。(平井大成)
- 善意の傘の取材を通して、まちを大切にしている地域の方の気持ちを知り、一層、玉川学園に親しみを感じるようになりました。(亀田理久)
- 玉川学園で、4年分の思い出があったことに気付くことができました。自分にとって玉川学園は第2の故郷です。(松尾宗泰)
- お庭カフェで話を伺い、まちを大切にしている地域の方の気持ちがわかりました。同時に自分も故郷を大切にしていきたいと思いました。(松本直己)
- 初めて紅茶専門店に行き、好みの紅茶を見つけることができました。自分が知らない紅茶も多く、もっと知りたい気持ちになりました。(山下直之)
- 当たり前に使っていた公園の遊具が、誰かに支えられているものだとわかりました。人に支えられて生きていることを胸に刻みたい。(田中武蔵)
- 大学の地元で(地域を学ぶ)学習は今年度が第2弾。学生たちにも自分の住むまちを大切にしようという気持ちが芽生えたようです。春になれば戻ってくるツバメのように、卒業してからも訪ねてほしいものです。(玉川大学教育学部教授・中西茂)